

事業報告

平成30年度 教育事業

ログちゃんアドベンチャーキャンプ①

平成30年6月30日(土)～7月1日(日)

【対象】幼児と保護者

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

自然を活用した、親子での運動遊びを通して、幼児の運動能力の向上と親子の絆を深め、親が子供に対して積極的に関わる子育て支援の機会を提供する。また、参加した親子同士の交流を図る。

～主催～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市・伊那市教育委員会

～活動日程～

| 時 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|-----|----------------|----|---------|------|--------------|----------------|-------------------------------|---------|--------------------------|----|----|-----|-------|-----------|-----------------|----|
| 1日目 | 10:40～11:00 受付 | | | | | アイスブレイク 開会式 | 昼食 | 入室・活動準備 | ～自然の中で遊ぼう～ アドベンチャーハイク | | 休憩 | つどい | 入浴・夕食 | キャンプファイヤー | 絵本読み聞かせ 【園児】 | 就寝 |
| 2日目 | 起床 | 朝食 | 朝食・荷物整理 | 清掃点検 | ～家庭でできる運動遊び～ | 親子運動遊び | 親子で料理に挑戦 ・パエリア ・フルーツポンチ | 閉会式 | 14:20 解散 | | | | | | | |

～参加者～

19家族（大人：23名、幼児：19名、小学生：3名）計：45名（長野県、愛知県、埼玉県）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 「アドベンチャーハイク」 ～自然の中で遊ぼう～

講師：信州大学経法学部教授 古屋顯一氏・ボランティア

古屋先生の指導の下、川わたり、崖のぼり、丸太にチーム全員が乗るなど、自然を活用した様々な課題の解決を通し、親子、家族同士の絆を深めた。ボランティアは導入の劇をしたり、ゲームの進行役として積極的に声掛けをしたりして、子供のやる気を引き出した。



活動Ⅱ キャンプファイヤー

講師：信州大学経法学部教授 古屋顯一氏・ボランティア

古屋先生に御指導いただいて、ボランティアが進行し、親子で歌やゲームを楽しんだ。点火はマジックファイヤーで行われ、自然に火がつくと参加者から歓声があがった。ボランティアは1人1ゲーム以上を担当し、リーダーシップを養うと共に、会場を盛り上げた。参加親子、ボランティア、職員が一体となったキャンプファイヤーとなった。





活動Ⅲ 講義（親対象）

講師：松本短期大学名誉教授 柳澤秋孝氏

「今、子供の教育に必要なこと」と題して、親向けの講義を柳澤先生にいただいた。運動することで神経が発達すること、神経の発達は10歳でピークに達することを最新の脳科学とともに学んだ。翌日の親子運動遊びで、保護者が初日に比べて積極的に子供とかわかっており、講義を受けて子供との関わりに変化が見られる有意義な内容であった。

活動Ⅲ 絵本の読み聞かせ（幼児対象）

講師：絵本専門士 谷口和恵氏

「よかったね ネットくん」「ごきげんのわるいコックさん」などの絵本の読み聞かせを行っていただいた。導入の手遊びから、幼児たちは物語の世界に引き込まれ、真剣な表情で聞き取っていた。またボランティアも先生と一緒に前に立って参加する場面があり、今後の活動に役立つ貴重な経験となった。



活動Ⅳ 親子運動遊び～家庭でできる運動遊び～

講師：松本短期大学名誉教授 柳澤秋孝氏

柳澤先生の指導の下、プレイホールで親子運動遊びを行った。前半にボランティアのサポートで子供が運動する様子を親が観察し、後半は親が子供をサポートしながら、子供と一緒に運動を行った。親からの子供への積極的な働きかけにより、子供は「もう一回、もう一回」と意欲的に運動に取り組むことができていた。

活動Ⅴ 親子で料理に挑戦

メニュー「パエリア」「フルーツポンチ」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員・ボランティア

親子やグループで協力して野外調理を行った。火起こしや火の調整を担当する親子と、材料を切ったりする親子とに分かれ、グループで協力して作業をすすめた。子供が作業できる場を保護者が積極的に作っていて、子供も野外調理を体験し満足感を得ることができた。



～参加者の声～

- アドベンチャーハイクで自然の中で様々な試練を頑張って乗り越える姿が多く見られて嬉しかった。普段は体験できない動きや活動ができました。
- 親子運動遊びで、子供ができること、できないこと、できそうなこと様々な姿が見られよかった。今後も家でも継続したいと思った。
- キャンプファイヤーではボランティアが熱くみんなで楽しむ雰囲気を作ってくれたので、みんなが楽しめていたと思う。最初は乗り気でなかった自分の子供も最後は輪に加わって参加できました。
- 講義を聞いて10歳まで楽しんで付き合おう！と強く思いました。子供を産んでからこういう勉強をしたことがなかったのでとてもありがたかった。

～成果と課題～

- 天候に恵まれ、屋外での活動が予定どおりでき、参加者からは普段できない活動ができたという感想が多くあった。講師の先生にご指導いただいた活動内容や、ボランティアに対する良い評価の言葉をたくさんいただいた。
- 活動が盛りだくさんで充実した反面、忙しい日程となっている。今後子供の様子を見ながら内容を工夫する必要がある。